



みあざはし

【校訓】自主 友愛 創造

本校生徒の素晴らしい活躍と実績があり、この度、羽島市 松井聡市長を表敬訪問させていただき、大会結果の報告に伴い、労いや今後への励ましのお言葉などをいただきました。このことは、新聞記事にも掲載されましたので紹介します。

活躍された3人の生徒の今後の飛躍をみなさんで応援すると共に、竹鼻中生徒一人一人が、自らの目標達成に向かって日々努力し、自身の成長に繋がっていくことを心から期待しています。

羽島市役所で竹鼻中生



全国や世界の大会で優秀な成績を残した(左から)花村さん、丸山さん、渡辺さん=羽島市役所で

全国や世界で活躍 3選手が報告

スポーツの全国大会や世界大会で優秀な成績を残した羽島市竹鼻中学校の生徒3人が二十一日、市役所を訪れ、松井聡市長に結果を報告した。

大垣共立銀行OKB体操クラブ(安八町)に所属する二年の丸山一休さんは、十一月に全日本ジュニア新体操選手権に出場。ロープやスティックなど四種目をミスなく演技して、男子個人総合で頂点に立った。

一年の花村雛希さんは、女子硬式野球のリトルシニア東海連盟の選抜チーム・東海レディースで七月の「Girls&Championship」に出場。先発投手として、要所をストライク先行で締めて三位に輝いた。

岐阜テコンドークラブ(岐阜市)の一年、渡辺藍さんは、十月にスロベニアで開かれたワールドカップに出場。体格の大きな選手を相手に多くの技を繰り出し、三位をつかんだ。

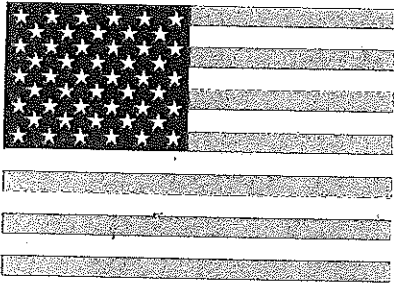
「緊張したが、笑顔で望んだことが結果につながった」と丸山さん。花村さんは「自分より体の大きな選手から三振が取れて気持ち良かった」と満足げだった。渡辺さんは「初めての世界大会で不安や怖さがあったが、満足した試合ができた」と振り返った。

(高野正憲)

本校のALT(Assistant Language Teacher)のイーサン先生です。「羽島市立図書館友の会広報紙」に掲載されました。

羽島で暮らして

「何事も神に感謝！」



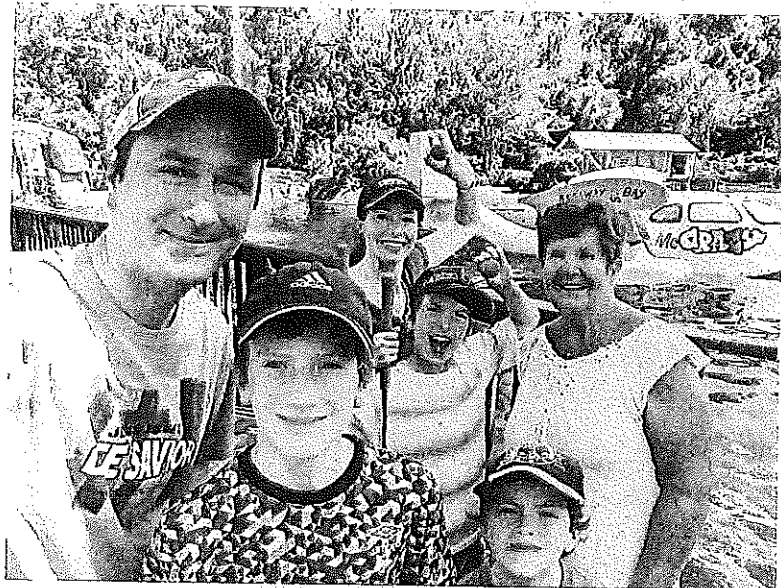
Ethan Fisher (41歳)
イーサン・フィッシャー 岐阜市在住

私の生涯の夢の二つは、教師になることと日本で暮らすことでした。日本の事を知れば知るほど日本の文化や日本人の事が好きになったのです。

2010年5月、最初の夢が実現しました。私はアメリカのシカゴ市で教師になりました。しかし、日本で暮らすという二つ目の夢は実現不可能

とっていました。

ところが、2013年に羽島市教育委員会から連絡を受けて変わったのです。それは「教職員の助教として働くのはどうか？」ということでした。私はとても嬉しくて夢を見ているのではないかと思いました。問題は3ヶ月で家族みんなで日本に移らなければならないこと……3ヶ月!? 私は結婚していて、2人の小さな子供と家のローン、そして仕事を抱えていました。3ヶ月では無理に思え、残念ながら申し出を断りました。翌2014年、再び羽島市から電話があり同じように誘われました「日本に来て英語を教えてください」。今回は、本来すべきことをして神に助けを求めました。私はまだ不可能に



皆でミニチュアゴルフを。左から私、長男、妻、次男、三男、母

思いましたが、もし神が私に日本に来てほしいと望むのなら、不可能を可能にしてくれるでしょう。要するに神のおかげです。神にとっての難しさは、全て同じなのだということに初めて気づきました。私たちは、人生の物事を簡単、難しい、または不可能と考えがちです。しかし、万物の創造者であり持続者である神にとって太陽を昇らせる事は、私が靴ひもを結ぶのと同じくらいに簡単な事なのです。神にとっては、何事も全て同じなのです。

こうして私は、8年前から日本で教師として生活しています。羽島に来てから多くのことが変わりました。ただ一つだけ変わらないことがあります。私は今でも神に助けを求めています。私の夢が叶ったからといって夢のような生活をしている訳ではありません。実際、外国での生活は本当に大変です。アメリカでは簡単に済む事が、日本では日本語が未熟の為、手間取ってしまうのです。しかし、様々な困難に直面しても、日本の人々は私や家族に優しくしてくれました。近所の人々は親切で、子供たちは安全で幸せです。お店に行けば、私の大好きなピーナッツバターが買えます。そして、殆どの方は、私の拙い日本語を理解しようとしてくれます。私の夢を叶えてくれてありがとう、羽島。親切な同僚たちと良い仕事をさせてくれて、ありがとう。私の家族を歓迎してくれて、私の子供達を気遣い、守ってくれてありがとう。不可能を可能にしてくれた神に感謝します。(原文英語)

